

ロイロノート・スクールを活用した家庭学習の進め方について（生徒用）

1 本校における「ロイロノート・スクール」の活用について

長期休校における生徒個々の家庭学習のサポートを支援するために活用していきたいと考えている。そのため学習に取り組む時間をきちんと設け、計画的に進めるように努めて欲しい。

2 主な活用方法

ログインしたら、受講する科目を選び、「ノート」を作成する。「ノート」は複数作成可能なので、単元毎や日付毎など自分で好きに名前を付け、整理しやすいように使い分けて貰えば良い。別の「ノート」にしたからと言って見られなくなるなどということはない。あくまで個人の「ノート」である。

次に、「資料箱」を活用して欲しい。基本は各授業ごとにフォルダ（青色）がある。ここに必要なコンテンツは保存されているので、選択して「使用する」を押せば、「ノート」に現れ、使用できる。ペンで書き込んでもよし、カードを別に作成し、繋げておいても良い。また、「資料箱」の中には「学校共有のフォルダ（黄色）」がある。ここには、様々なコンテンツがあるので、教科毎にフォルダが分かれているので、自由に使用して良い。ここにはクラスをまたがった共通のコンテンツ等がある。

そして、質問等を行いたい場合は、「送る」を利用する。ただし、「生徒間通信」が解除（利用可能）になっているとき（教員の指示による）は生徒同士で情報のやりとりができるので、家庭にしながら協働学習を進めることも可能である。活用して欲しい。また、時間差で、配信されている場合もある。その場合は「送る」を押すと「タイムライン」が表示される。ここにあるものも選択し、「使用する」で「ノート」に現れ使用できるので、こちらもうまく利用して欲しい。

3 使用上の留意点

今、全国でロイロノート・スクールを利用する学校が急増したため、時間帯によってはサーバが混雑して繋がりにくい状況である場合もある。その際は、右上の氏名を押すとメニューが表示され、「サポート状況」というものがある。それを押すとサーバの状況が表示されるので、確認して欲しい。

また、Android版、iOS版、Windowsタブレット版、Web版ではバージョンが異なるため（iOSが最新バージョン）、仕様が若干異なる。特にiOS以外はバッジや通知機能が未装着であるため、定期的に「資料箱」や「タイムライン」等を確認して欲しい。今後改善される予定である。

4 授業ができない不便

授業が行えず、申し訳ないが家庭学習をうまく進められるようになれば授業は大変効率よく学習に取り組めることが実感できるはずだ。そのために、生活リズムと健康管理（健康であることは、基本であり、最も重要なこと。免疫力を落とさないように留意すること。）をしながら、学習に取り組んで欲しい。その際の注意点をいくつかまとめておく。

① 質問が上手にできる人になる

質問がうまくできるとは、教科書を見れば分かること、調べれば分かることを聞いては学びに繋がらない。それは自分で調べれば済むことだ、良い質問とは、

自分の理解が進むための質問である。質問をくり返しながら上手な質問ができる人になろう。

② わかったつもりにならない

分かったつもりでは困る。分かったつもりにならないために普段テストが行われる。家庭学習の間も小テストを実施して貰ったり、自ら決めた問題をテスト感覚で解いてみるなど分かったつもりになっていないかをチェックして欲しい。

③ 生徒同士の学びも大切

先生・生徒のやりとりだけではなく、生徒同士の学び愛が重要である。時にはライバルとして時には協力者として互いに切磋琢磨していけるように友達同士とも時々連絡を取りながら学習を進めて欲しい。

京都大学の教授で川上教授という方が見える。彼は「不便益」という言葉を生み出した（詳細は「京大変人講座」（三笠書房）か、HP（<http://www.gaia.h.kyoto-u.ac.jp/henjin/>）を参照のこと）。不便だからこそその利益があるということだ。例えば、富士登山は非常に困難で不便極まりない。だからといって登山エレベータや登山エスカレータを付けたらどうだろうか。誰も富士登山に興味を持たなくなるだろう。世の中には不便だからこそその利点があるということだ。また、世の中のアイデアやヒット商品は不便の中から生まれる。

つまり、我々も不便だからこそ今までの生活を振り返り、その中から新しい発想や必要なものの見方や考え方を身に付けて欲しい。早く再開される日を待ち望んでいる。その日まで互いに協力しながらよい学びを進めていこう。成長した君たちに会えることを楽しみにしているよ。